



中学生の力

校長 渡部 智昭

7月に入り、気温も湿度も高くなってきました。夏が近いなと感じます。1学期もまとめの1ヵ月となりました。これまで様々な事に取り組み、成果もあげてきました。6月2日の朝礼の時間に壮行会を体育館で行いました。各部の部長さんが前に出て、大会に向けた意気込みを語りました。体育館に気合の入った大きな声が響きます。全校生徒が体育館に集まって活動を行うのは久しぶりでした。これまでのオンライン実施とは違い、雰囲気は直接感じられていいものだなと改めて思いました。そして、翌日から始まった大会では、金子教頭先生と手分けをして各会場を回り応援してきました。どの部も最後まであきらめず立派な態度で試合に臨んでいました。中でもソフトボール部は、市内大会優勝という素晴らしい結果となりました。私は、閉会式であいさつを担当することになっていて、きっと最終日まで行くだらう、そして優勝も狙えるだろうと予想していました。それが目の前で現実のものとなりました。決勝戦では、タイブレークから決勝点を取り、相手の攻撃を抑えて優勝してくれました。閉会式では、宮前中の生徒に優勝の賞状とカップを手渡すことができました。本当に嬉しかったです。このような機会を与えられ感謝の気持ちでいっぱいです。ソフトボール部の皆さん並びに応援して下さった保護者の皆様ありがとうございました。女子ソフトテニス部、陸上部と併せて県大会に出場します。県大会でもがんばりましょう。また、これから大会やコンクールを迎える文化部の皆さんも運動部のがんばりに続いて素晴らしい発表を行ってきてください。期待しています。

6月20日には、令和5年度第1回学校運営協議会を開催しました。協議会の会長を本校PTA会長の渡邊浩志様 副会長を内野公民館長の森田敏男様をお願いすることとなりました。本校は、コミュニティ・スクールとして3年目を迎えます。昨年度の学校運営協議会で、子どもたちに身につけさせたい力として「夢や希望を持てる力」「地域を担う力」「コミュニケーション能力」があげられました。また、学校、家庭、地域が一緒にできることとして地域や公民館などが行う活動に生徒をボランティアとして参加させるということが話し合われました。そこで今回、24日の避難所開設訓練と25日に青少年育成内野地区会が主催する青空教室のボランティア募集を行いました。どちらの活動にも30名を超す生徒の応募がありました。中学生が参加することで活気が生まれ、活動が充実したものとなりました。中学生の力は素晴らしいものがあります。地域の方々も、中学生の力に期待しています。活動を通じて「夢や希望」を持ち、「コミュニケーション力」を発揮し、「地域を担う力」を身につけて伸ばして行ってほしいと思います。

さて、3週間後の7月22日から38日間の夏休みとなります。夏休みは家庭での生活が中心となります。家で過ごす時間を普段はできないことにチャレンジしてほしいと思っています。家族と過ごすかけがえのない時間を大切に、健康面、安全面に十分気をつけ夏休みを過ごしてください。

【宮前中学校生徒の活躍について】

先月号で、日進北小学校の児童を助けた3年生4名を紹介しましたが、地域の方から再び嬉しい連絡をいただきました。2年生R.Sさん、R.Tさん、H.Aさんの3名は、番場公園でお年寄りの方が倒れた所を通りかかって、近くにいた方とともに救急車を呼び、お年寄りの世話や救急車の誘導など協力して動いてくれたそうです。ありがとうございました。